

第1回福祉とアートへのシンポジウム

THE 1ST SYMPOSIUM ON WELFARE & ART

令和3年度 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業
いばらき障害者芸術文化活動支援センター準備室

いばらきで
しま起きて
みる

主催：南東北・北関東広域支援センター（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン）
いばふく（いばらき中央福祉専門学校）/ ROKUROKURIN 合同会社 後援：茨城県

HAPPENING NOW IN IBARAKI
2022.2.26 SAT 14:00-16:30 ONLINE

令和3年度厚生労働省障害者芸術文化活動普及支援事業
いばらき障害者芸術文化活動支援センター準備室
THE 1ST SYMPOSIUM ON WELFARE & ART
HAPPENING NOW IN IBARAKI

第1回福祉とアートのシンポジウム

本年度始動した、いばらき障害者芸術文化活動支援センター準備室では、「福祉」と「アート」をキーワードに、継続的な学びの場やフラットなネットワークをつくっています。今回のシンポジウムは、県内でアートを切り口に活動を展開する3団体にスポットをあて、その哲学についてうかがいます。「福祉」と「アート」がであう時、起こる“何か”を目撃してください。

2022年2月26日(土)
14:00 - 16:30 (13:30 開場)

参加方法

3通りの方法がございますので、以下より選んでご参加ください。

① Zoom 参加 | 先着 100 名

[質疑応答など、登壇者とのコミュニケーションが可能です]

② 会場参加 | 先着 50 名 | 視聴のみ

[プロジェクターで映像をご視聴いただけます]

会場：茨城県総合福祉会館 〒310-0851 水戸市千波町 1918

お問い合わせ：029-244-4545

③ YouTube 参加 | 視聴のみ

参加対象：どなたでも [手話の同時通訳を予定しております]

参加費：無料

※登壇者はオンライン参加となります。会場で行うシンポジウムではありません。

お申し込み

Google フォームまたはメールよりお申し込みください。

お申し込み後、メールで参加方法の詳細をお送りいたします。

【Google フォーム】

QR コードを読み取り、お申し込みください。

URL : <https://forms.gle/yVKZKJs4hWtBcYag8>



【メール】

件名に「第1回シンポジウム」と入力し、

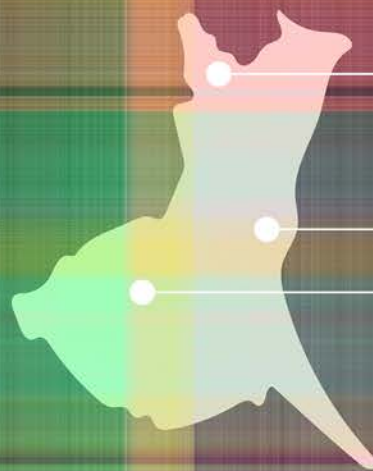
氏名・連絡先・参加方法・人数を明記の上、お申し込みください。

E-mail : hello@welfareart.net

※参加方法についてのご相談は、お電話でも受け付けています。

お気軽にお問い合わせください。電話：080-6862-5402 (小堀)

い
る
HAPPENING NOW
IN IBARAKI
いま
起きて
い
ばら
き
で



障害者芸術文化活動支援センターとは

厚生労働省では、障害のある人たちの芸術文化活動の振興を図るとともに、自立と社会参加の促進を目的に、自治体や民間団体と協力し、「障害者芸術文化活動普及支援事業」に取り組んでいます。障害のある人が芸術文化を享受し、多様な活動を行うことができるよう、支援拠点として「障害者芸術文化活動支援センター」を都道府県に設置し、絵画や陶芸などの美術分野、演劇や音楽、舞踊などの舞台芸術に関する多様な支援事業を展開しています。
(障害者芸術文化活動支援事業ウェブサイトより)

茨城県の支援センター〔準備室〕では、障害があるないに関わらず、表現する自由について多様な立場のみなさんと話し合い、実践する機会や仕組みを創出したいと考えています。

的場 政樹 Masaki Matoba (袋田病院／大子町)

医療法人直志会理事長 袋田病院院長 精神科医



1962年生まれ。映画「カッコーの巣の上で」の舞台になったような精神科病院での衝撃的な経験から、精神科病院の脱構築がライフワーク。2000年より袋田病院勤務。農畜産業、総合医療、アート等を織り込んだ地域精神科医療を実践。安彦講平氏の造形活動に感銘を受け、2001年より招聘。2013年より「アートフェスタ」を開催する等、精神科病院でのアートの可能性を模索中。

立川 利行 Toshiyuki Tachikawa (ユーアイファクトリー／水戸市)

社会福祉法人ユーアイ村 障がい福祉サービス事業所（生活介護）「ユーアイファクトリー」管理者



1984年茨城県西茨城郡友部町（現笠間市）生まれ。上智大学で社会福祉を学ぶ。大学卒業後は特別養護老人ホームユーアイ村にて高齢者介護の世界へ。その後、地域包括支援事業にて、認知症があっても暮らしやすい街づくりに深く関わる。現在は障害分野に移り、生活介護事業所で3年目。日々起きる楽しい（？）出来事に戸惑いながらも奮闘中。口癖は「どンドン外に出よう！」。

柳瀬 敬 Takashi Yanase (自然生クラブ／つくば市)

自然生クラブ 障がい福祉サービス事業所（生活介護）ディレクター



1958年愛媛県今治市生まれ。筑波大学で教育哲学を学ぶ。群馬県全寮制私立学校、白根開善学校で自由教育を実践。1990年筑波山南麓に自然生クラブ設立。知的障がい者と共同生活しながら有機農業と表現活動に取り組む。表現の自由さと共同性に着目し、たくさんの知的障がい者とアート活動を行ってきた。茨城新聞社社員論説委員として評論活動も行う。現在つくば市教育委員。



小堀 幸子 Yukiko Kobori (準備室メンバー)

1968年水戸市生まれ、笠間市在住。東京学芸大学大学院修了。美術教科書などの編集を経て、2011年より社会福祉法人 北養会にて広報業務を行う。2016年より福祉職の人材確保・定着を目的としたプロジェクト「いばふく」に関わり、イベントや研修の企画・広報を担当。美術や音楽を用いた福祉の魅力発信を行う。2019年よりNPO法人ちいきの学校デザイン室を兼任。



ミヤタユキ Yuki Miyata (準備室メンバー)

1985年水戸市生まれ、常陸太田市在住。ROKUROKURIN合同会社代表。東京藝術大学大学院修了。自宅を「六六鱗」と名付け、国内外アーティストの滞在、プロジェクトの拠点などとしながら、全国各地で活動している。県内の主な活動に「SCOI-水府コイノボリプロジェクト」、茨城県北芸術祭 KENPOKU ART 2016 など。編集・共著に、「地域アートはどこにある？」（堀之内出版、2020）



障害者芸術文化活動支援センターより3名がオブザーバーとして参加！

- 武田 和恵 Kazue Takeda (ぎやらりー・ら・ら・ら／山形県)
- 小林 竜也 Tatsuya Kobayashi (はじまりの美術館／福島県)
- 柴崎 由美子 Yumiko Shibasaki (エイブル・アート・ジャパン／宮城県)

NPO 法人 エイブル・アート・ジャパン

「社会の芸術化、芸術の社会化」をキーワードに活動するNPO法人。平成29年度から障害者芸術文化活動支援センター@宮城（愛称：SOUP）を開設、令和3年度からは同事業の南東北・北関東広域支援センターを担当。

いばらき
障害者
芸術文化
活動支援
センター

準備室

【お知らせ】

「福祉」と「アート」に関する web サイトを制作中です。茨城県内の魅力的な活動のご紹介や、イベントのお知らせなども発信する予定です。紹介したい施設や活動、人など、みなさまからの情報もお待ちしています！ welfareart.net

【お問い合わせ】

いばふく（いばらき中央福祉専門学校） 所在地：茨城県水戸市鯉淵町 2222-2
電話：080-6862-5402（担当：小堀） / E-Mail：hello@welfareart.net

令和3年度 厚生労働省 障害者芸術文化活動普及支援事業

主催 | 南東北・北関東広域支援センター（NPO 法人エイブル・アート・ジャパン）

いばふく（いばらき中央福祉専門学校）

ROKUROKURIN 合同会社



後援 | 茨城県

作品画像（外側）：佐藤皓平『アラシ』[2021]（NPO 法人 自然生クラブ） / デザイン：津田翔平

WELFAREART.NET